

植物多様性センターの「ノコンギクとハマコンギク」

ノコンギクとハマコンギクが見頃を迎えています。ノコンギクは山野でふつうにみられるシオン属の多年草です。ハマコンギクはノコンギクの海岸型変種で、東京では伊豆諸島で見ることができます。この2種の葉を見比べてみると、ハマコンギクの葉は厚く光沢があって、海岸の強い日差しと潮風に適応していることが観察できます。学習園内には同じシオン属のカワラノギク、シロヨメナ、ユウガギク、カントウヨメナ、シラヤマギクがあり、花だけでなく葉の違いを観察するのも楽しいですよ。



ノコンギク:園内では奥多摩エリアにある。



ハマコンギク:伊豆諸島ゾーンにあり、隣にイソギクもある。



ハマコンギクの花:キク科らしく、小さな花が集まっている。



ノコンギク(左)とハマコンギク(右)の葉の比較。